



### マレーシアの方々の温かさ

三崎 永遠

私は今回のマレーシア訪問でさまざまなことを学び、知ることができた。最も印象に残っていることは2日目のホームビジットである。

私が泊まっていたホテルの周りは高層ビルなどが建ち並び栄えていたが、ホームビジットで訪問した村は木が生い茂り、小さな家が所々に建っているだけだった。その中の一つの家に着くと、家族の方々はとても歓迎してくれた。私たちはその家でマレーシアの伝統的なゲームであるチョンカをさせてもらった。このゲームはビー玉と専用の板を使って行い、ビー玉の数を競うゲームである。英語がほとんど理解できない私たちに家族の方々は丁寧にゲームをしながら説明してくれ、簡単な単語で伝えようとしてくれた。

そして、ゲームの後はマレーシアの伝統的な衣装を着させてもらった。私が着替え、帽子を被ろうとすると前髪は出さないとされた。マレーシアではイスラム教が信仰されているため、前髪などは隠さなければならないからだ。

衣装を着た後は家族の方々と会話をした。私はこの時日本とマレーシアの人々の違いを知ることができた。日本人は自分から話しかけたりあまりしないと思う。周囲の様子を見てしまう。しかし、マレーシアではみんなが積極的で私たちが飽きたり暇を持て余らせたりしないよう触れ合おうとしてくれた。そんなところを見て私はマレーシアの人々の温かさなどを感じることができた。この温かさを私も持ち続け、今後は周りに広げていきたい。